

1. **Adobe Experience Manager (以下「AEM」という)に関する追加条件** AEM の提供内容は、オンプレミスソフトウェア付録の条件のもと（但し、オンデマンドサービスとして定められるコンポーネントを除く）、これらの権利、制限、義務、条件に従うことを条件として、お客様に使用許諾されます。本 PDM の規定は、セールスオーダーに記載され、本 PDM の第 3 条に定められるように、永久ライセンスまたはサブスクリプションとしてお客様に使用許諾される AEM 製品およびサービスに適用されます。

1.1. 定義

- 1.1.1. **クラスター**： 同じ機能を持つ複数のインスタンスで構成されるグループまたはシステムで、グループ外の別のインスタンスから干渉を受けることなく、インスタンス間で同期された状態が続くように設定されているものを意味します（例えば、2 つのグループ化されたパブリッシャーインスタンスが、グループ外の 3 つ目のオーサーインスタンスにより同期が保たれている場合、この設定はクラスターではありません。これに対して、2 つのグループ化されたパブリッシャーインスタンスがお互いの間で情報を送り合っで同期を保っていたり、共通のレポジトリを使用することで同期を保っている場合、これらのインスタンスはクラスターです）。
 - 1.1.2. **クラスタリング機能**： オンプレミスソフトウェアをクラスターとして作動させる機能を意味します。
 - 1.1.3. **インスタンス**： 1 台のコンピューターで実行されるオンプレミスソフトウェアのコピー 1 部を意味します。各インスタンスは、「オーサー」または「パブリッシャー」のいずれかに指定できますが、それぞれを 1 つのインスタンスとして別個で数えるものとします。お客様が AEM Cloud Hosted 製品およびサービスを購入する場合、インスタンスとは、アドビが管理するハードウェアインフラストラクチャで実行されるオンデマンドサービスのコピー 1 部を意味します。
 - 1.1.4. **ユーザー**： インスタンスの管理またはオーサリング、アドビホステッドまたはオンラインアカウントの管理、あるいはオンプレミスソフトウェアまたはオンデマンドサービス内に保存されたお客様コンテンツの維持管理を目的として、またこれらの目的に限らず、直接または API の使用等によってプログラムの、オンプレミスソフトウェアまたはオンデマンドソフトウェアへのログインアクセスが許可された、お客様の社員または請負人（独立した請負人およびコンサルタント）を意味します。
- 1.2. **開発向けライセンス** 本契約に従い、お客様が本契約の条件を遵守する限りにおいて、本契約に基づいてお客様が AEM オンプレミスソフトウェアの有効なライセンスを受けることを条件に、アドビはライセンス期間中に、妥当な部数の AEM オンプレミスソフトウェアを開発ソフトウェアとしてインストールし使用する非独占的なライセンスをお客様に許諾し、開発ソフトウェアにアクセスする

AEM ユーザー数を制限しないものとします。お客様は使用許諾済みの開発ソフトウェアを、本番稼働目的ではなくテストと品質保証の目的に限定して、お客様の技術開発環境でのみ使用できるものとします。本条で許諾される AEM ユーザーライセンスは、本契約で定める目的において、使用許諾済み開発ソフトウェアへのアクセスのみを許可するものとします。アドビは本使用許諾を、AEM オンプレミスソフトウェアの開発版に関連して、かつお客様の自社内部業務のためにのみ提供するものとします。本条のいかなる定めも、お客様による開発環境での使用に関連しない、開発ソフトウェアの使用、配布、修正、複製、リンク、または翻訳を目的とした明示または黙示の使用許諾を付与するものではありません。

1.3. **リモート検証** AEM オンプレミスソフトウェアは、お客様による本契約の条件の遵守を確認する目的で、お客様の AEM オンプレミスソフトウェアのアクティブなインスタンス数に関する報告をアドビに行う機能を含む場合があります。アドビは、インスタンスがアクティブであるということを除いて、個人の AEM オンプレミスソフトウェアの利用に関するデータを一切受け取らず、またシステムにおけるいかなるレベルのアクティビティまたは取引をも、リモートで無効化あるいは監視する機能を保持するものではありません。

1.4. **SDK の利用に関する条件** お客様が追加的に AEM のソフトウェアや機能を開発する目的で、アドビまたはその関連会社から、SDK や開発者パッケージ、またはその他のソフトウェアツール（以下「SDK ソフトウェア」という）をダウンロード、使用、または受領した場合、SDK ソフトウェアの使用には、SDK に付随する read me ファイルの使用許諾条件が適用されることについて、お客様は同意するものとします。read me ファイルまたはその他の SDK に付随する使用許諾の条件がない場合、SDK ソフトウェアに <http://www.adobe.com/products/eulas/> の該当する条件が適用されるものとします。当該条件は、記載されている AEM SDK により特定されます。

2. **AEM 製品およびサービスディスクリプション** サールスオーダーにおいてお客様に使用許諾される AEM 製品およびサービス（および当該セールスオーダーにおいて使用許諾されていない他の AEM 製品およびサービス）のディスクリプションは、以下の通り本条に含まれます。

2.1. **AEM Web Content Management（以下「AEM WCM」という）**

2.1.1. **AEM WCM のエディション**

2.1.1.1. **AEM WCM ベーシックエディション（ライセンスはベースパッケージ単位）**

AEM WCM ベーシックエディションには 2 つのインスタンスが含まれます。追加インスタンスはそれぞれ別個に購入し、適用されるセールスオーダーで特定される必要があります。使用許諾される AEM WCM ベーシックエディション、そのコンポーネント、アドオン、あるいは追加インスタンスの AEM ユーザーそれぞれに対するライセンスは個別に許諾され、適用されるセールスオーダーで特定されなければなりません。AEM WCM ベーシックエディションは、以下のコンポーネントと機能で構成されるものとします。これらのコンポーネントは、AEM WCM

ベーシックエディションに含まれる各インスタンスでの使用、また使用許諾された追加の AEM WCM ベーシックインスタンスがある場合はそれら各インスタンスでの使用を目的として、お客様に使用許諾されます。

- AEM Web Content Management (以下「AEM WCM」という) AEM WCM は、お客様にデジタルクロスチャネル体験を提供するプラットフォームです。インプレース編集、Web コンポーネントのライブラリからのドラッグアンドドロップによるページ構成、サーチエンジン最適化に対するコントロール、予定配信、およびランディングページの最適化などのサポートを伴うオーサリング環境を提供します。
- Adobe Marketing Cloud の統合 AEM WCM には、他の Adobe Marketing Cloud ソリューションとの統合機能が含まれています。この機能には統合コードのみが含まれており、お客様は、統合する別の Adobe Marketing Cloud ソリューションそれぞれについて別途使用許諾を受ける必要があります。
- Advanced Content Management Advanced Content Management には、フォーム機能、Offline Editor、および WebDAV アクセスが含まれます。
- メディアライブラリ メディアライブラリは、デジタル資産の制作や配信について、限られたツールを提供します。メディアライブラリには、コンテンツリポジトリ、AEM ユーザーによるリポジトリコンテンツの表示と編集を可能にする WebDAV サポート、そして基本的なメタデータ管理へのアクセスが含まれます。
- CRX Apache Jackrabbit と Sling オープンソースプロジェクトの商用パッケージバージョンで、強力な Web アプリケーション開発ソリューションです。CRX は高度にスケーラブルなコンテンツレポジトリアーキテクチャ上に構築されています。
- Common Internet File System (CIFS) サポート SMB/CIFS アダプターは SMB/CIFS を介して CRX レポジトリを公開します。
- シングルサインオン (SSO) 対応 LDAP AEM WCM ベーシックエディションは、お客様のユーザー情報を集中的に保存する LDAP サーバーとインタラクトすることによって、複製の必要性をなくします。このセントラルサーバーは、その他の社内アプリケーションおよび外部ポータル両方で、シングルサインオンの実現に使用できるログイン情報の検証に使用されます。

- 2.1.1.2. **AEM WCM スタンダードエディション (ライセンスはベースパッケージ単位)**
AEM WCM スタンダードエディションには 2 つのインスタンスが含まれます。追加インスタンスはそれぞれ別個に購入し、適用されるセールスオーダーで特定さ

れる必要があります。AEM WCM スタンダードエディション、そのコンポーネント、アドオン、あるいは追加インスタンスの AEM ユーザーそれぞれに対するライセンスは、それぞれ個別に許諾され、適用されるセールスオーダーで特定されなければなりません。AEM WCM スタンダードエディションは、以下のコンポーネントと機能で構成されるものとします。これらのコンポーネントは、AEM WCM スタンダードエディションに含まれる各インスタンスでの使用、また使用許諾された追加の AEM WCM スタンダードインスタンスアドオンがある場合はそれらインスタンスアドオンでの使用を目的として、お客様に使用許諾されます。

- AEM WCM ベーシックエディション 上記の第 2.1.1.1 項に記載された AEM WCM ベーシックエディションのすべてのコンポーネント。
- AEM Digital Asset Management (以下「AEM DAM」という)の基本機能 AEM WCM スタンダードエディションには、AEM DAM の基本機能である、コンテンツレポジトリアクセス、Creative Suite 統合、AEM ユーザーがレポジトリコンテンツを表示および編集できる WebDAV サポート、基本的なレポート作成、AEM DAM 管理 UI アクセス、AEM DAM 検索機能、クエリービルダーAPI、基本的な権利管理機能、Adobe Creative Cloud および Adobe Marketing Cloud の統合、タグ管理機能、基本的なメタデータ管理、デジタル資産バージョンング、およびタイムベースの資産サポートおよびトランスコードが含まれています。

上記の限られた AEM DAM 機能は AEM WCM スタンダードエディションに付属し、AEM WCM スタンダードエディションに含まれるインスタンス、あるいはこのベースパッケージのアドオンとして購入された追加インスタンスでの使用のみを目的として、お客様に使用許諾されます。AEM DAM スタンダードエディションのフル機能バージョンは、AEM WCM スタンダードエディションおよびそれに関連する追加インスタンスでの使用、または AEM WCM スタンダードエディションとは別個のスタンドアロン製品として、この限定機能のアップグレードとして別途使用許諾されます。
- ポータルとしての AEM AEM ポータルコンテナーにより、ユーザーは AEM で JSR 286 規格のポートレットを実行できます。
- AEM ポータルディレクター ユーザーによる発行インスタンスからのコンテンツの表示や、オーサーインスタンスからのコンテンツのプレビューを可能にする、コンテンツポートレットを提供します。さらに、新しいブラウザーウィンドウで対応するページを開くため、コンテンツ内にリンクを提供します。

2.1.2. AEM WCM のアドオン

- 2.1.2.1. **AEM WCM 用 AEM アクティブクラスタリング (ライセンスはクラスター単位)**
AEM WCM 用 AEM アクティブクラスタリングのライセンスで、AEM WCM ライセンスのクラスター機能が有効になります。
- 2.1.2.2. **AEM Marketing Campaign Management (以下「AEM MCM」という) (ライセンスはインスタンス単位)** AEM MCM は、モバイルおよびソーシャルコミュニティを含む複数のデジタルチャネルにおいて、ユーザーによるマーケティングキャンペーンの計画、設計、起動、最適化を可能にします。
- 2.1.2.3. **AEM Mobile (ライセンスはインスタンス単位)** AEM WCM プラットフォームとインターフェイスを活用して、さまざまなモバイル機器とアプリケーション上で Web コンテンツを配信できます。
- 2.1.2.4. **AEM Multisite Managert (以下「AEM MSM」という) (ライセンスはインスタンス単位)** ユーザーが、サイト間の関係を定義したり、異なるサイトでどの程度再使用するか、またはどの程度コントロールを設定するかを定義できます。AEM MSM を設定すると、これが自動的に行われます。
- 2.1.2.5. **AEM Social Communities (ライセンスはインスタンス単位)** Web サイトでユーザーが夢中になるソーシャル体験をマーケターが作り出し、ブランドロイヤリティの構築と需要の創出ができるソリューションです。
- 2.1.2.6. **AEM eCommerce (ライセンスはインスタンス単位)** 製品のページ、買い物かご、eCommerce システムと統合するための API 標準セットを含む、コマースの基本的なコンポーネントを提供します。
- 2.1.2.7. **コンテンツレポジトリコネクタ (ライセンスはコネクタ単位)** 各コンテンツレポジトリコネクタは、AEM WCM エディション (ベーシックまたはスタンダード) 1 部と、それぞれに関連する追加購入の Adobe WCM インスタンスで使用する目的で、お客様に使用許諾されます。
- 2.1.2.8. **Media Publisher (ライセンスはインスタンス単位)** AEM Media Publisher には、発行物用に記事を簡単にオーサリングできる機能と、Adobe Digital Publishing Suite との統合機能が含まれています。Media Publisher は、AEM WCM スタンダードエディションインスタンスにのみ追加できます。
- 2.1.2.9. **追加の AEM WCM インスタンス (ライセンスはインスタンス単位)** 追加の AEM WCM ベーシックまたはスタンダードインスタンスのライセンスには、関連する AEM WCM エディションのライセンスが必要です。お客様が AEM Cloud Hosted パッケージを購入する場合は、AEM Cloud Hosted のインスタンスの追加は、AEM 製品およびサービスの AEM Cloud Hosted の実装を補完することのみを目的と

するものとし、AEM Cloud Hosted の追加のインスタンスは、本番稼働またはそれ以外の目的で使用できます。

2.2. AEM Digital Asset Management (以下「AEM DAM」という)

2.2.1. **AEM DAM スタンダードエディション (ライセンスはベースパッケージ単位)** AEM DAM スタンダードエディションは、マーケティングキャンペーンおよびマーケティング戦略におけるデジタル資産の計画、制作、配信用です。AEM DAM スタンダードエディションは、スタンドアロン製品として、または AEM WCM スタンダードエディションへのアップグレードとして使用許諾されます。AEM DAM スタンダードエディションには 1 つのインスタンスが含まれます。追加インスタンスはそれぞれ別個に購入し、適用されるセールスオーダーで特定される必要があります。AEM DAM スタンダードエディションがスタンドアロン製品として別個で使用許諾される場合、AEM DAM スタンダードエディション、そのコンポーネント、アドオン、または追加インスタンスのユーザーそれぞれに対するライセンスも、個別に許諾される必要があります。AEM DAM スタンダードエディションは、以下のコンポーネントと機能で構成されるものとし、これらのコンポーネントは、AEM DAM スタンダードエディションに含まれるインスタンスでの使用、また追加の使用許諾済み AEM DAM インスタンスがある場合はそれら各インスタンスでの使用を目的として、お客様に使用許諾されます。

- AEM DAM の高度な機能** AEM WCM スタンダードエディションのベースパッケージで説明した AEM DAM の基本機能すべてに加え、追加あるいは強化機能として、資産編集機能、高度な権利管理、InDesign や Sharepoint との統合を含む一般的なシステム統合、高度なメタデータ管理、メディアポータルおよび資産共有のアクセス、ワークフローの確認と承認、さらに AEM Dynamic Media、Personalized Media、および Video 機能のアドオン機能が、追加費用で含まれています。
- CRX** Apache Jackrabbit と Sling オープンソースプロジェクトの商用パッケージバージョンで、強力な Web アプリケーション開発ソリューションです。CRX は現代的なアーキテクチャ上に構築され、高度にスケーラブルなコンテンツレポジトリです。
- CIFS サポート** SMB/CIFS アダプターは SMB/CIFS を介して CRX レポジトリを公開します。
- シングルサインオン (SSO) 対応 LDAP** AEM DAM スタンダードエディションは、お客様のユーザー情報を集中的に保存する LDAP サーバーとインタラクトすることによって、複製の必要性をなくします。このセントラルサーバーは、その他の社内アプリケーションおよび外部ポータルの両方で、シングルサインオンの実現に使用できるログイン情報の検証に使用されます。

2.2.2. AEM DAM のアドオン

2.2.2.1. **AEM DAM 用アクティブクラスタリング (ライセンスはクラスター単位)** AEM DAM 用アクティブクラスタリングのライセンスで、AEM DAM ライセンスのクラスター機能が有効になります。

2.2.2.2. **追加の AEM DAM インスタンス (ライセンスはインスタンス単位)** 追加の AEM DAM インスタンスのライセンスには、AEM DAM のスタンドアロンライセンスが必要です。

2.2.2.3. **AEM Media 製品およびサービス** AEM Dynamic Media、AEM Personalized Media、および AEM Video はオンデマンドのアドオンで、クロスメディアプラットフォームでの、動的なリッチコンテンツの管理と強化、さらにこれらの Web、印刷、電子メール、およびモバイルチャネルへの配信を可能にします。すべての AEM Media 製品およびサービスについて、お客様は AEM DAM スタンダードに有効なライセンスが必要です。いかなる AEM Media 製品およびサービスの使用も、<http://www.adobe.com/content/dam/Adobe/en/legal/terms/enterprise/pdfs/2013/PDM-AEMMedia-2013v1.pdf> に記載の AEM Media の PDM に従うものとします。

2.3. **AEM ユーザー (ライセンスはユーザー単位)** AEM ユーザーは指名ユーザー単位で使用許諾されます。つまり 1 部のユーザーライセンスが、本書において使用許諾された AEM Media Products and Services へのアクセスまたは使用を許可された 1 人のユーザーに対し許諾されます。ユーザーライセンスは、同時に使用 (つまり、2 人以上のユーザーまたは 2 台以上のコンピューターで同時に同じログイン ID を使用) したり、複数のユーザーで使用することはできません。

2.4. **AEM 機能パック** AEM 機能パックはお客様によってリクエストされた製品機能で、ホットフィックスやパッチではなく、通常の製品リリースの周期以外でアドビによって構築され配信されます。AEM 機能パックは、将来のリリースに含まれるもしくはサポートされる場合とそうでない場合があります。AEM 機能パックのリクエスト料金についてはセールスオーダーにその詳細が記載され、セールスオーダーには、AEM 機能パックとその使用に関して追加される権利および制限を記載したプロフェッショナルサービス詳細が添付されるものとします。

2.5. Adobe LiveCycle との AEM 統合 – Document Services for AEM および Document Security for AEM

2.5.1. AEM の Adobe LiveCycle との統合についての追加定義

2.5.1.1. **CPU** : (i) Adobe LiveCycle オンプレミスソフトウェアを実際に起動する CPU の総数がコンピューター上の CPU 総数を下回るよう、お客様がコンピューターを設定している (ハードウェアまたはソフトウェアのパーティション分割方法が、信頼性があり検証可能である) 場合を除き、Adobe LiveCycle オンプレミスソフトウェアがインストールされているコンピューター上のすべての CPU が Adobe LiveCycle オ

ンプレミスソフトウェアを起動するものと見なすことを条件として、さらに、(ii) <http://www.adobe.com/go/multicorepolicy> に記載の適用される「マルチコアポリシー」のガイドラインに準拠する場合、または両当事者が署名する別個の書面で定めがある場合を除き、1 基の CPU に 2 基以上のプロセッシングコアが搭載されている場合、2 基のプロセッシングコアを 1 組として 1 基、および 1 組にならない残りのプロセッシングコアを 1 基の CPU と見なすことを条件として、Adobe LiveCycle オンプレミスソフトウェアを実行するためにコンピューターで使用される中央演算処理装置を意味します。

2.5.1.2. **デプロイ**：方法を問わず、直接的または間接的に、受領者を含めた 1 人以上の人物または団体に文書を提供または使用可能な状態にすることを意味します。デプロイされた文書は、配布することができなくなるまで、デプロイされているものとみなされます。

2.5.1.3. **文書**：Adobe LiveCycle が処理または生成する電子もしくは印刷ファイルを意味し、データが入力されたり保存されるデータフィールドを持つ文書を含みます。

2.5.1.4. **Adobe LiveCycle のベースコンポーネント**：基盤コンポーネント、Adobe LiveCycle SDK コンポーネント、および Flex SDK コンポーネントを意味し、それぞれ Adobe LiveCycle の PDM に記載され、参照用に本書に組み込まれています。お客様は、<http://www.adobe.com/content/dam/Adobe/en/legal/terms/enterprise/pdfs/2013/PD-M-LiveCycleES-2013v1.pdf> の Adobe LiveCycle オンプレミスの PDM に記載された方法で、またその範囲において、Adobe LiveCycle のベースコンポーネントを使用することが可能です。

2.5.1.5. **Reader 機能**：(i) Adobe LiveCycle により PDF ファイルに組み込まれた特定の技術で、それ以外では利用できない Adobe Reader の機能（文書をローカルで保存したり注釈を付ける機能など）を有効にし、また、(ii) Adobe LiveCycle Rights Management により直接、またはサポートされるソフトウェアアプリケーションを介して、実施されるように設計されたアクセス権および使用権を記載もしくは参照するメタデータ（コンピューターに保存されたり、サポートされるファイル形式の電子ファイルに組み込まれている）を意味します。

2.5.1.6. **受領者**：本書において別段の定めがない限り、お客様が直接的または間接的に文書をデプロイする個人を意味します。デプロイされた文書を受け取る人は、デプロイの前にお客様に身元が知られておらず、お客様がその人に過去に文書をデプロイしていない限り、特定のソフトウェアアプリケーションに関して一意の受領者としてみなされるものとします。

2.5.2. **Adobe LiveCycle の追加機能およびコンポーネント** Reader 機能、LiveCycle Forms、LiveCycle Forms Pro、LiveCycle Reader Extensions、LiveCycle PDF Generator、および LiveCycle Rights

Management は、Adobe LiveCycle オンプレミスの PDM に記載されており、それらの説明は参照用に本書に組み込まれています。お客様は、<http://www.adobe.com/content/dam/Adobe/en/legal/terms/enterprise/pdfs/2013/PDM-LiveCycleES-2013v1.pdf> の Adobe LiveCycle オンプレミスの PDM に記載された方法で、またその範囲において、これらの各コンポーネントを使用することが可能です。

2.5.3. **日本における使用に関する制限** AEM の Adobe LiveCycle との統合は、日本での購入あるいは使用において対象外となります。

2.5.4. **統合製品ディスクリプション：**

2.5.4.1. **Document Services for AEM (ライセンスは CPU 単位)** お客様は、フォームからのデータをレンダリング、事前埋め込み、および抽出し、さまざまなソースから PDF 文書を生成し、無料の Reader で機能を有効化し、フォームを管理できます。これら機能の範囲については製品のドキュメンテーションに記載されています。Document Services for AEM には、LiveCycle のベースコンポーネント、LiveCycle Forms Pro、LiveCycle Reader Extensions、および LiveCycle PDF Generator モジュールが含まれます。LiveCycle Reader Extensions の利用制限については、(i)あらゆるソースからの PDF 文書について最高 20 点、(ii)個人を受領者による利用の直前に LiveCycle Forms Pro によりレンダリングされた PDF 文書については無制限、(iii)LiveCycle PDF Generator によりレンダリングされた PDF 文書については無制限とします。

2.5.4.2. **Document Security for AEM (ライセンスは受領者単位)** お客様は、文書を開くことのできるユーザー、文書を印刷できるユーザーなど、文書に特定のコントロールを指定することができます。これら機能の範囲については製品のドキュメンテーションに記載されています。Document Security for AEM には LiveCycle のベースコンポーネントおよび LiveCycle Rights Management が含まれ、セールスオーダーの記載の通り受領者単位で使用許諾されます。お客様は、本契約またはドキュメンテーションで明確に許可されている場合を除き、Document Security for AEM によって処理された電子ファイルを表示する目的で本ソフトウェアを使用する場合、ソフトウェアに表示されるプライバシーまたは追跡に関する電子通知やダイアログボックスを無効にしたり中断することはできません。

3. **AEM のライセンス期間および配布モデル** AEM 製品およびサービスは、以下のいずれかのライセンス期間および配布モデルで使用許諾されます。製品の価格はお客様に使用許諾されたライセンス期間や配布モデルによって異なります。

3.1. **AEM の永続ライセンス**

- 3.1.1. AEM の永続ライセンスは、オンプレミスソフトウェア付録の条件のもと、これらの権利、制限、義務、条件に従うことを条件として、お客様に許諾されます。
- 3.1.2. 永続ライセンスにはメンテナンスおよびサポートは含まれておらず、お客様は別途使用許諾される必要があります。お客様が AEM 製品ライセンスに加えてメンテナンスおよびサポートについて使用許諾を受ける場合、メンテナンスおよびサポートの購入について、メンテナンスおよびサポートのライセンス期間を含め、別途セールスオーダーで特定する必要があります。

3.2. **AEM のサブスクリプションライセンスおよびサービス**

- 3.2.1. AEM のサブスクリプションライセンスは、オンプレミスソフトウェア付録の条件のもと、これらの権利、制限、義務、条件に従うことを条件として、お客様に許諾されます。
- 3.2.2. サブスクリプションライセンスを購入すると、ライセンス期間中メンテナンスおよびサポートが無償で含まれています。使用許諾済み AEM 製品およびサービスに関連するメンテナンスおよびサポートの期間は、ライセンス期間と同じであるものとします。メンテナンスおよびサポートの期間がライセンス期間を超えることはありません。アドビは、<http://www.adobe.com/jp/legal/terms/enterprise/pdfs/MS-Platinum-2013v1.pdf> に記載のプラチナムサポートサービス契約に従って、サポートサービスを提供します。メンテナンスおよびサポートサービスは、セールスオーダーに記載されたサブスクリプションライセンス期間中有効となります。

LRD: 2013.12.02kjp



ADOBE PDM – ADOBE EXPERIENCE MANAGER (2013v1)

1. **Additional Terms for Adobe Experience Manager (“AEM”).** AEM offerings are licensed to Customer under the terms of the Exhibit for OnPremise Software, except for components that are described as OnDemand Services, and are subject to those rights, restrictions, obligations and conditions. The provisions of this PDM apply to AEM Products and Services, which are licensed to Customer either on a perpetual or subscription basis, as noted in the Sales Order and described in Section 3 of this PDM.
 - 1.1. **Definitions**
 - 1.1.1. **Cluster:** means a group or system of multiple Instances with the same function that are configured to stay synchronized with each other without intervention from another Instance outside of this group (e.g. if two grouped publisher Instances are kept in sync by a third author Instance outside of the group then this configuration is not a Cluster; however, if two grouped publisher Instances are kept in sync by passing information between themselves, or by sharing a common repository, then they are a Cluster).
 - 1.1.2. **Clustering Functionality:** means the enablement of the OnPremise Software to work as a Cluster.
 - 1.1.3. **Instance:** means one (1) copy of the OnPremise Software running on one (1) Computer. Each Instance can be designated as either ‘author’ or ‘publisher’, but each shall be counted separately as one (1) Instance. Additionally, if Customer purchases AEM Cloud Hosted Products and Services then an Instance means one (1) copy of the OnDemand Services running on the hardware infrastructure managed by Adobe.
 - 1.1.4. **User:** means employee(s) or contractors (e.g. independent contractors and consultants) of Customer that are authorized to have login access, either directly or programmatically such as through use of an API, to the OnPremise Software or OnDemand Software for any purpose, including, but not limited to, administration or authoring of the Instance(s), administration of Adobe hosted or online accounts, or maintenance of Customer Content stored within the OnPremise Software or OnDemand Services.
 - 1.2. **License for Development Use.** Subject to, and so long as Customer complies with, the terms of this Agreement, and provided that Customer is receiving a valid license to any AEM OnPremise Software hereunder, Adobe grants to Customer a non-exclusive license, during the License Term, to install and use a reasonable number of copies of the licensed AEM OnPremise Software, as Development Software and an unlimited number of AEM Users to access the Development Software. Customer may use the licensed Development Software in Customer’s technical development environment only, strictly for testing and quality assurance purposes and not for production purposes and the AEM User licenses granted in this Section shall only have rights to access the licensed Development Software for the purposes described herein. Adobe grants this license solely in connection with Development Software versions of the AEM OnPremise Software and for Customer’s own internal business operations, and nothing in this section grants any express or implied license to use, distribute, modify, copy, link, or translate the Development Software other than in connection with the Customer’s use in a development environment.
 - 1.3. **Remote Verification.** The AEM OnPremise Software may contain functionality that allows Adobe to receive reports about Customer’s number of active Instances of the AEM OnPremise Software, for the purpose of verifying Customer’s compliance with the terms of this Agreement. Adobe does not receive any data regarding any individual’s use of the AEM OnPremise Software, nor does Adobe have the ability to remotely disable or monitor any level of activity or transactions on the system except that an Instance is active.
 - 1.4. **Terms Governing Use of SDKs.** Should Customer download, use or otherwise receive from Adobe, or its subsidiaries, a SDK, developer package, or other software tool intended for Customer development of additional AEM software and/or functionality (the “SDK Software”); Customer agrees that use of the SDK Software will be governed by the licensing terms available as a read me file included with the SDK. If no read me file, or other licensing terms, are included with the SDK, then the SDK Software will be governed by the applicable terms available at <http://www.adobe.com/products/eulas/>. The terms will be identified by the AEM SDK listed.



2. **AEM Product and Services Descriptions.** Descriptions of the AEM Products and Services licensed to Customer in the Sales Order (as well as other AEM Products and Services not licensed thereunder) are included in this Section below:

2.1. **AEM Web Content Management (“AEM WCM”).**

2.1.1. **AEM WCM Editions.**

2.1.1.1. **AEM WCM Basic Edition (licensed per base package).** An AEM WCM Basic Edition includes two (2) Instances; each additional Instance must be purchased separately and identified in the applicable Sales Order. A license for each AEM User of AEM WCM Basic Edition, its components, add-ons, or additional Instances licensed, must be licensed separately and identified in the applicable Sales Order. The AEM WCM Basic Edition consists of the following components and functionality; use of these components is licensed to Customer for use on every Instance included with AEM WCM Basic Edition and each additional AEM WCM Basic Instance(s) licensed, if any:

- AEM Web Content Management (“AEM WCM”). AEM WCM is a platform for delivering digital cross-channel customer experiences and provides an authoring environment with support for in-place editing, drag-and-drop page composition from a library of web components, and controls for Search Engine Optimization, scheduled delivery, and landing page optimization.
- Adobe Marketing Cloud Integrations. AEM WCM includes functionality for integration with other Adobe Marketing Cloud solutions, this functionality includes only the integration code and Customer must be separately licensed for each of the additional Adobe Marketing Cloud solutions that are integrated.
- Advanced Content Management. Advanced Content Management includes forms capabilities, Offline Editor, and WebDAV access.
- Media Library. Media Library provides a limited tool for the production and distribution of digital assets. Media Library includes access to the content repository, WebDAV support which allows AEM Users to display and edit the repository content, and basic metadata management.
- CRX. CRX is a commercially packaged version of the Apache Jackrabbit and Sling open source projects and is a powerful web application development solution. CRX is built on highly scalable content repository architecture.
- Common Internet File System (CIFS) Support. The SMB/CIFS Adapter exposes the CRX repository via SMB/CIFS.
- LDAP with Single Sign On (SSO). AEM WCM Basic Edition can interact with a LDAP server that stores Customer’s user information centrally, eliminating the need for duplication. This central server is then used to verify login information that can be used to realize SSO, both with other in-house applications and external portals.

2.1.1.2. **AEM WCM Standard Edition (licensed per base package).** An AEM WCM Standard Edition includes two (2) Instances; each additional Instance must be purchased separately and identified in the applicable Sales Order. A license for each AEM User of AEM WCM Standard Edition, its components, add-ons, or additional instances, must be licensed separately and identified in the applicable Sales Order. The AEM WCM Standard Edition consists of the following components and functionality; use of these components is licensed to Customer for use on every Instance included with AEM WCM Standard Edition, and on each additional AEM WCM Standard Instance add-on(s) licensed, if any:

- AEM WCM Basic Edition. All components of the AEM WCM Basic Edition described above in Section 2.1.1.1.
- AEM Digital Asset Management (“AEM DAM”) Basic Functionality. AEM WCM Standard Edition includes the following limited AEM DAM basic functionality: content repository access, Creative Suite integration, WebDAV support allowing AEM Users to display and edit the repository content, basic reporting, AEM DAM administration UI access, AEM DAM search functionality, query builder API, basic rights management features, Adobe Creative Cloud and Adobe

Marketing Cloud integrations, tag management functionality, basic metadata management, digital asset versioning, and time based assets support and transcoding.

The limited AEM DAM functionality described above is included with the AEM WCM Standard Edition and granted to Customer only for use on the Instances included the AEM WCM Standard Edition or on any additional Instances purchased as add-ons to this base package. A fully functional version of AEM DAM Standard Edition can be licensed separately as an upgrade to this limited functionality for use with this AEM WCM Standard Edition and its related additional Instances or as a stand-alone product, separate from the AEM WCM Standard Edition.

- **AEM as a Portal.** The AEM Portal Container lets Users run JSR 286-compliant portlets in AEM.
- **AEM Portal Director.** The AEM Portal Director provides a content portlet that lets Users display content from the publish Instance, preview content from the author Instance, and provides a link within the content to open the corresponding page in a new browser window.

2.1.2. AEM WCM Add-ons.

- 2.1.2.1. **AEM Active Clustering for AEM WCM (licensed per Cluster).** The license of Active Clustering for AEM WCM enables Cluster Functionality for AEM WCM licenses.
- 2.1.2.2. **AEM Marketing Campaign Management (“AEM MCM”) (licensed per Instance).** AEM MCM enables Users to plan, design, launch, and optimize marketing campaigns across multiple digital channels, including mobile and social communities.
- 2.1.2.3. **AEM Mobile (licensed per Instance).** AEM Mobile leverages the AEM WCM platform and interface to deliver web content across a range of mobile devices and applications.
- 2.1.2.4. **AEM Multisite Manager (“AEM MSM”) (licensed per Instance).** AEM MSM lets Users define relations between sites and also lets Users define to what degree re-use or control is exerted on the different sites. The MSM, once set up, does this automatically.
- 2.1.2.5. **AEM Social Communities (licensed per Instance).** AEM Social Communities is a solution that enables marketers to create immersive social experiences as part of their website to build brand loyalty and generate demand.
- 2.1.2.6. **AEM eCommerce (licensed per Instance).** AEM eCommerce provides basic commerce components including product pages, shopping cart and a standard set of APIs to integrate with eCommerce systems.
- 2.1.2.7. **Content Repository Connectors (licensed per Connector).** Each Content Repository Connector is licensed to Customer for use with one (1) AEM WCM edition (Basic or Standard) and each related additional AEM WCM Instance(s) licensed.
- 2.1.2.8. **Media Publisher (licensed per Instance).** AEM Media Publisher includes capabilities for easy article authoring for publications and integration with Adobe Digital Publishing Suite. Media Publisher may only be added to AEM WCM Standard Edition Instances.
- 2.1.2.9. **Additional AEM WCM Instances (licensed per Instance).** The license of additional AEM WCM Basic or Standard Instances requires the license of the related AEM WCM edition. If Customer is purchasing a AEM Cloud Hosted package then additional AEM Cloud Hosted Instances are only intended to supplement Customer’s implementation of an AEM Cloud Hosted version of the AEM Products and Services. The additional AEM Cloud Hosted Instance(s) can be used for either production or non-production purposes.

2.2. AEM Digital Asset Management (“AEM DAM”).

- 2.2.1. **AEM DAM Standard Edition (licensed per base package).** AEM DAM Standard Edition is for the planning, production, and distribution of digital assets for marketing campaigns and marketing initiatives. AEM DAM Standard Edition is licensed as a standalone product or as an upgrade to the AEM WCM Standard Edition. An AEM DAM Standard Edition includes one (1) Instance; each additional Instance must be purchased separately and identified in the applicable Sales Order. When AEM DAM Standard Edition is licensed

separately as a standalone product, a license for each User of AEM DAM Standard Edition, its components, add-ons, or additional Instances, must also be licensed separately. AEM DAM Standard Edition consists of the following components and functionality; use of these components is licensed to Customer for use on the Instance included with AEM DAM Standard Edition and each additional AEM DAM Instance(s) licensed:

- **Advanced AEM DAM Functionality.** All of the basic functionality of AEM DAM described in the AEM WCM Standard Edition base package above is included, plus the following additional or enhanced functionality: asset edit features, advanced rights management, integrations including InDesign, Sharepoint, and generic systems integrations, advanced metadata management, media portal and asset share access, review and approval workflows, and the ability to add-on AEM Dynamic Media, Personalized Media, and Video capabilities (at additional cost).
- **CRX.** CRX is a commercially packaged version of the Apache Jackrabbit and Sling open source projects and is a powerful web application development solution. CRX is built on a modern architecture and is a highly scalable content repository.
- **CIFS Support.** The SMB/CIFS Adapter exposes the CRX repository via SMB/CIFS.
- **LDAP with Single Sign On (SSO).** AEM DAM Standard Edition can interact with a LDAP server that stores Customer user information centrally, eliminating the need for duplication. This central server is then used to verify login information that can be used to realize SSO, both with other in-house applications and external Portals.

2.2.2. AEM DAM Add-ons.

- 2.2.2.1. **Active Clustering for AEM DAM (licensed per Cluster).** The license of Active Clustering for AEM DAM enables Cluster Functionality for AEM DAM licenses.
 - 2.2.2.2. **Additional AEM DAM Instances (licensed per Instance).** The license of additional AEM DAM Instances requires the license of AEM DAM Stand-alone.
 - 2.2.2.3. **AEM Media Products and Services.** AEM Dynamic Media, AEM Personalized Media, and AEM Video are OnDemand add-ons that enable a cross media platform for managing, enhancing and delivering dynamic, rich content to web, print, email, and mobile channels. All AEM Media Products and Services require that Customer have an active license enabled for AEM DAM Standard. The use of any AEM Media Products and Services is subject to the PDM for AEM Media available at <http://www.adobe.com/content/dam/Adobe/en/legal/terms/enterprise/pdfs/2013/PDM-AEMMedia-2013v1.pdf>.
- 2.3. **AEM Users (licensed per User).** AEM Users are licensed on a named user basis, meaning that a User license is granted to a single User who is authorized to access or use the AEM Products or Services licensed herein. User license(s) may not be used concurrently (i.e. the same login ID may not be used by more than one User or computer at a discrete moment in time) or by multiple Users.
- 2.4. **AEM Feature Pack.** An AEM Feature Pack is a product feature requested by a customer and built by Adobe for delivery outside of the normal product release cycle and which is not a hotfix or patch. The AEM Feature Pack may or may not be included or supported in future releases. Fees for the requested AEM Feature Pack shall be detailed in the Sales Order and a Professional Services Description shall be attached to the Sales Order describing the AEM Feature Pack and any additional rights and limitations associated with its use.
- 2.5. **AEM Integrations with Adobe LiveCycle – Document Services and Document Security for AEM.**
- 2.5.1. **Additional Definitions for AEM Integrations with Adobe LiveCycle.**
 - 2.5.1.1. **CPU:** means central processing units on Computers used to operate the Adobe LiveCycle OnPremise Software provided that: (i) all CPUs on a Computer on which the Adobe LiveCycle OnPremise Software is installed are deemed to operate the Adobe LiveCycle OnPremise Software unless Customer configures that Computer (using a reliable and verifiable means of hardware or software partitioning) such that the total number of CPUs that actually operate the Adobe LiveCycle OnPremise Software is less than the total number on that Computer; and (ii) when a CPU contains more than one processing core, each group of two (2) processing cores, and any remaining unpaired processing core, will be

- deemed one (1) CPU unless it conforms to the guidelines described in the applicable Multicore Policy at <http://www.adobe.com/go/multicorepolicy>, or in a separate writing signed by both parties.
- 2.5.1.2. **Deploy:** means to deliver or otherwise make available, directly or indirectly, by any means, a Document to one or more persons or entities including Recipients. A Document that has been Deployed will be deemed to remain Deployed until it is no longer available for distribution.
- 2.5.1.3. **Document:** means an electronic or printed file that is processed or generated by Adobe LiveCycle, including Documents that contain data fields where data may be entered and saved.
- 2.5.1.4. **Adobe LiveCycle Base Components:** means the Foundation Components, the Adobe LiveCycle SDK Components and the Flex SDK Components, each of which are described in the PDM for Adobe LiveCycle and incorporated herein by reference. Customer may use Adobe LiveCycle Base Components in the manner, and to the extent, described in the PDM for Adobe LiveCycle OnPremise available at <http://www.adobe.com/content/dam/Adobe/en/legal/terms/enterprise/pdfs/2013/PDM-LiveCycleES-2013v1.pdf>.
- 2.5.1.5. **Reader Features:** means (i) certain technology embedded into PDF files by Adobe LiveCycle that enables features in Adobe Reader software that would not otherwise be available (e.g., the ability to save documents locally or add annotations); and (ii) metadata (stored on a Computer and/or embedded in an electronic file of a supported file format) that contains or refers to access and usage rights designed to be enforced by Adobe LiveCycle Rights Management directly or through supported software applications.
- 2.5.1.6. **Recipient:** means, unless otherwise defined herein, a person to whom Customer directly or indirectly Deploys Documents. Each person that receives a Deployed Document shall be deemed a unique Recipient with respect to a particular software application unless the identity of that Recipient is known to Customer prior to Deployment and Customer has Deployed Documents to that Recipient before.
- 2.5.2. **Additional Adobe LiveCycle features and components.** Reader Features, LiveCycle Forms, LiveCycle Forms Pro, LiveCycle Reader Extensions, LiveCycle PDF Generator and LiveCycle Rights Management are described in the PDM for Adobe LiveCycle OnPremise and such descriptions are incorporated herein by reference. Customer may use each of these components in the manner, and to the extent, described in the PDM for Adobe LiveCycle OnPremise available at <http://www.adobe.com/content/dam/Adobe/en/legal/terms/enterprise/pdfs/2013/PDM-LiveCycleES-2013v1.pdf>.
- 2.5.3. **Restriction on Use in Japan.** AEM Integrations with Adobe LiveCycle are not available for purchase or use in Japan.
- 2.5.4. **Integration Product Descriptions:**
- 2.5.4.1. **Document Services for AEM (licensed per CPU).** Document Services for AEM enables Customer to render, prefill and extract data from forms, generate PDF documents from a variety of sources, enable capabilities in the free Reader, and manage forms. The extent of these capabilities is described in the product documentation. Document Services for AEM shall include LiveCycle Base Components, LiveCycle Forms Pro, LiveCycle Reader Extensions, and LiveCycle PDF Generator modules. The use of LiveCycle Reader Extensions software is limited to the following use: a) enable up to 20 PDF Documents rendered from any source; b) enable unlimited PDF Documents only when that Document has been rendered by LiveCycle Forms Pro software immediately prior to its use by an individual Recipient; and c) enable unlimited PDF Documents only when that Document has been rendered by LiveCycle PDF Generator software.
- 2.5.4.2. **Document Security for AEM (licensed per Recipient).** Document Security for AEM enables Customer to place certain controls on documents, such as who may open or print a document. The extent of these capabilities is described in the product documentation. Document Security for AEM shall include LiveCycle Base Components and LiveCycle Rights Management and is licensed on a per-Recipient basis as provided in the Sales Order. Customer is not permitted to disable or interfere with electronic notices or dialogue boxes concerning privacy or tracking that appear in the software used for viewing electronic files that have been processed by Document Security for AEM except as explicitly permitted in this Agreement or the Documentation.

3. **AEM License Term and Distribution Models.** AEM Products and Services may be licensed within one of the following License Term and distribution models. Product pricing will vary for the specific License Term and distribution model licensed by Customer.

3.1. **AEM Perpetual Licenses.**

3.1.1. Perpetual licenses are licensed to Customer under the terms of the Exhibit for OnPremise Software and are subject to those rights, restrictions, obligations and conditions.

3.1.2. Maintenance and Support is not included with perpetual licenses and must be licensed separately by Customer. Should Customer elect to license Maintenance and Support in addition to their AEM product license the Maintenance and Support purchase must be identified separately in the Sales Order, including the duration of the License Term for the Maintenance and Support.

3.2. **AEM Subscription Licenses and Services.**

3.2.1. Subscription licenses are licensed to Customer under the terms of the Exhibit for OnPremise Software and are subject to those rights, restrictions, obligations and conditions.

3.2.2. Maintenance and Support is included during the License Term at no additional charge as part of the subscription license purchase. The Maintenance and Support related to the licensed AEM Product and Services will be coterminous with the License Term. In no case will the Maintenance and Support exceed the License Term in duration. Adobe will provide support services in accordance with the Platinum Support Service Agreement, available at <http://www.adobe.com/legal/terms/enterprise/pdfs/MS-Platinum-2013v1.pdf>. Maintenance and Support services would be effective during the Subscription License Term noted in the Sales Order.

LRD: 2013.12.02kjp